

シリーズ 第80回 人権



妹の思いを聞いて

私には15歳年の離れた妹がいる。妹は現在中学生で、毎日勉強に部活動にと頑張っている。幼い頃は人見知り^{かたじけなく}が激しく、人前では父や母の背後に回り、服の裾をぎゅっとつかんで隠れていた。今では明朗闊達^{かつたつ}に育ち、多くの友人に恵まれ、行事の際には自ら進んで周りに声を掛け、リーダーシップを発揮するなど、頼もしくなってきた。

そんな妹が「将来、男の人に頼らなくても自分の力だけで生きていけるようになりたい。もしかしたら結婚はしないかもしれないよ」と言い出した。よくよく話を聞いてみると、妹の夢はいろいろな国の人と関わり、世界で活躍することで、その妨げになるのであれば結婚は必要ないからだと言う。私や家族はそんな妹の話聞き、大いに驚いた。思春期の女の子は恋や結婚に憧れたりするものだと思っていたため、そのような夢を語るのは意外だった。

男女雇用機会均等法が成立し、女性の積極的な社会進出が叫ばれるようになってから30年以上が経過した。その間、社会の意識は大きく変化したというが、まだまださまざまな制約があるように思える。例えば、私の職場でも、子どもの保育園の送り迎えや突然の病気の際の対応に苦慮している先輩の姿がある。

男女が共に生き生きと自分らしく人生を送るためには、女性だけでなく、男性も積極的に家事育児に関わっていけるような環境が確立される必要があると思う。それと同時に、私たちの社会や私たち自身にある、男性だから女性だけ

らといった意識を変えていかなければならないと強く感じる。

将来結婚するとしたら、経済面も生活面もそれぞれが自立でき、協力し合える関係でありたいという妹の思いを大切にしながら、性別にかかわらず多様な人々が共に幸せに生きていけるような社会の実現に向けて、私も微力ながら貢献したいと思う。まずは、私や私の家族の中にある性別に対する固定的な意識を変えていくことから始めたい。

(30代・男性)

人権 豆知識

「男女共同参画社会」って何だろう？

男女共同参画社会とは、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。

男性だから、女性だからといった考え方にとらわれることなく、社会でも家庭でも、一人の人間として、能力を発揮できる機会を確保していきましょう。